

トラフグ「口白症」の 確定診断法を開発

宮台俊明名誉教授、末武弘章教授、瀧澤文雄准教授
(福井県立大学海洋生物資源学部)

一色 正教授
(三重大学大学院生物資源学研究科)

本研究の発見

口白症感染魚



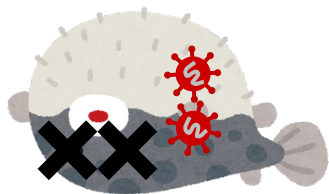
口白症ウイルスの
RNAの一部を特定



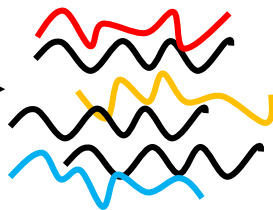
特定した口白症ウイルスの
RNA配列を解読

本研究の意義

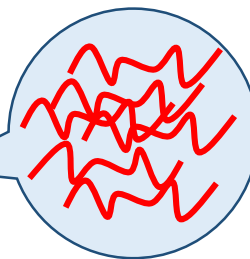
養殖場で口白症が
疑われるトラフグ



病魚から
RNAの抽出



RT-PCR



ウイルス
遺伝子を
増幅して
検出

PCRを用いた口白症の検査・診断が可能に！

論文について

- 【論文名】 Exogenous RNA segments detected specifically in the brain of kuchijirosho (snout ulcer disease)-infected fugu *Takifugu rubripes*: molecular diagnosis tool for kuchijirosho.
- 【論文著者】 加藤毅士, 北村万佑香, 前田知己, 小高智之, 瀧澤文雄, 末武弘章(福井県立大学), 一色 正(三重大学), 宮台俊明(福井県立大学名誉教授)
- 【掲載誌】 日本魚病学会誌「Fish Pathology」56巻1号6-13頁
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsfp/56/1/56_6/article/-char/ja/
- 【公表日】 2021年3月15日
(オンライン版: 2021年4月22日)